

第269回 益田掃除に学ぶ会 お掃除通信

開催場所 横田中学校 校長 田村 嘉久
参加者数 9名 教頭 房野 伸枝

1、代表世話人挨拶
<山崎代表世話人都合により欠席の為萩の佐々仁資さんより>
こうして人数は少ないですが、定期的に継続されている
ことが、益田の会は良いと思います。萩の会もやって
いますが、今月は5人、先月は生徒さんが参加されて
30人、その前は3人とかで中々安定的にできない所が
問題と思っています。何にしても毎月継続することが
大切なことと思います
2、体験感想発表
・青木 邦江さん(益田市内)
二か月ぶりに参加しました。やっぱりこの会に参加
しなかつたら元気が出ませんね。今日は近いこともあって
参加しました。友達に声をかけて誘っているのですが
なかなか参加して頂けないですね。難しいものです
・森 宣雄さん(キューサイファーム鳥根)
先月は欠席しましたが、実は浜田で海岸清掃が有って
そちらに参加しました。コスモ石油が主催でしたが、参加は
数百人集まって、掃除の会とは大違いですが、何故、何が
違うのかと思いました。掃除の会も参加して欲しいと
おもいますね
・中西 秀之さん(周南市鹿野町)
掃除の会はもとも鍵山相談役が心の荒みを少なくしたいと
始められた訳ですが、道具を整えることが、心を整えること
整えられないと心が荒むということで、本来の掃除の目的を
忘れてはいけないと思います。掃除家になってはいけないし
日々成長する掃除、毎回よくなる掃除を心掛けないと
みんなが進歩がなくなると思います

2、体験感想発表
・中部 尚樹さん(浜田市・キヌヤ)
今日は小便秘を担当しました。相当汚れているかと思いましたが
そうでもなくて、ひたすら磨いておりましたが、中西リーダーが次の
指示を出されましたのでそちらをやりました。昨年熱中症になりかけた
ので今回は注意をしながら行いました
・松崎 純次さん(益田市・キヌヤ)
最近さぼり癖が出て二か月欠席しました。町内の役をしている関係で
行事が多く仕方ありませんけど。いつも思っているのは、掃除は夏は
暑い方がいいし、冬は寒い方がいいと思います。今日は特にいい汗を
かきました。今日のテーマは「静かに楽しく」でしたが、前半はできて
いましたが、後半はどうだったでしょうか？
・中島 明洋さん(益田市翔陽高校1年生)
学校生活が忙しくてなかなか参加できません。先月も欠席しました
今、クラブ活動でボランティア部に所属していますが、先輩の皆さん
にも声をかけて一緒に参加を進めておられますが中々です。部の先生が
参加してみたい意向を持たれていますのでそちらの方が期待できます
日本を美しくする会中国ブロック研修会のご案内について
1・日時 8月3日(土) 4日(日)
2・場所 柳井市立大畠中学校 柳井市神代4273
3・日程
3日(土)開会 14:30~大畠中学校にて 閉会17時
懇親会18時~柳井市大畠「網代」にて
4日(日)受付 7:45~ 開会式8:00~
掃除実習 8:30~11:00 終了11:30
4・会費 掃除参加費1000円 懇親会5000円

4、鍵山秀三郎相談役 一日一話より抜粋
今やるべきことをやる
「この秋は雨か嵐か知らねども 今日の勤めに田の草を取る」
疎開先での少年時代、私は農業に携わり、この歌に詠まれたような生活に耐えてきました
丹精込めて育てた作物が、収穫寸前に災害に見舞われて努力が報われないことがしばしばでした。
しかし、努力してきたからこそ今の私がいいます。
流されない生き方
どんなに立派な生き方をしても、予期せぬ災難とか苦難に遭遇するのが人生です。
そんなとき、普通の人は「私は誰にも迷惑をかけたことがないのに、どうして私だけがこんな目に
遭うのだろう。不公平だ」と考えるものです。こういうときこそ、自分を失うことなく、周囲に
流されない生き方を通すことがもっとも大切です。
5、森信三先生の教え 一語千鈞より
只管あいさつ
・読書は、実践への最深の原動力
・本の求め方について
1)その時一番読みたい本、自分の魂の要求を本当に満たしてくれるものを読む事
2)一時に一冊しか買わないこと
3)買ったらすぐに二、三十ページを読む事
・人は退職後の生き方こそ、その人の真価だといってよい。退職後は、在職中の三倍ないし
五倍の緊張を以って、晩年の人生と取り組まねばならぬ
6・平澤 興先生語録より
生きよう今日も喜んで
・八十歳でまた第三の人生が始まる。より輝きのある人生、拝まずにはいられぬところの人生が始まる
この人生がどこまで行くのか私にはわからない。それはなにか、神々しいものが輝いている感じである。
・本当に人生を楽しむのは八十歳からである。この年になって、がっくりする人と、新しい人生に燃える人が出てくる
・新しい人生に燃えるのは、ファイト(気魄、活力、気力)が必要であるが、それはひたすら生かされて生きているこの
人生を喜びながら、自分の心に頭を下げ、自分に感謝しながら限りなき夢(希望)を求めるといふことである